

2025年度 解答速報

西南学院中学校入試【国語】

2025年 1月16日実施

国 語

- 一 問1 (1) 夏 (2) 蛍 (蚊帳) 問2 3 問3 持ってきた 問4 3 問5 他に行く ～ でもない
問6 2 問7 ア (例) 祖母の家に弟とともに引き取られて暮らす イ (例) 希望 問8 A 簡単 B 演奏
- 二 問1 A 内臓 B 認識 C 独自 問2 難産と長い育児期間
問3 I 脳に十分なエネルギーを供給する II 抱き続けられない 問4 2
問5 (例) 赤ちゃんの、周囲にいる家族によって可愛がられて育てられる (姿。)
問6 X 9 Y コミュニケーション
- 三 問1 あさがお 問2 2
問3 広やかな秋のころよ / 何という鳥の声かと見上げる空の
問4 4 問5 ように 問6 2 問7 1 問8 2
- 四 問1 A 1 B 4 C 3
問2 (例) 兄 (が) 妹 (の) 宿題 (を) 教える (。)
妹 (は) 宿題 (を) 兄 (に) 教えられる (。)

【講評】

大問1は、井上ひさし「あくる朝の蟬」からの出題で、文学的文章であった。問7は情景描写が主人公の心情を表すことを読み取る特徴的な問題であった。大問2は中村桂子『人類はどこで間違えたのか 土とヒトの生命誌』からの出題で説明的文章であった。問5は設問に問われている型で答える必要があり、本文該当箇所を受け身の形に変える必要があった。大問3は、短歌とその鑑賞文からの出題であった。短歌だけでなく鑑賞文の中の言葉を根拠に答える必要があった。大問4は、異なる法則によって言い換えられた二つの文の法則を考え、見分ける問題であった。問2はその場で考え、受け身の例文を作らなければならない特徴的な問題であった。全体的に取り組みやすい問題であった。